



# 公益社団法人日本口腔インプラント学会 第40回九州支部学術大会 ランチョンセミナーを開催いたします

## 演題

## GBR において選択すべきマテリアルの考察 Consideration of materials to be selected for GBR

欠損歯列にインプラントを適応する際、抜歯後に生ずる歯槽骨の硬軟組織の形態変化は 2012 年の Wah らのシステマティックレビューによれば最大で水平的に 36%、垂直的に 22% 減少すると報告されている。もしそこにインプラントをそのまま埋入すれば、その上部構造は機能性、審美性に多くの問題を生ずる可能性が高い、よって何らかのオギュメンテーションによって失われた歯槽骨の形態を回復させる必要がある。近年、ブロック骨移植は合併症と術後における移植骨の吸収の観点から回避され、GBR が第一選択肢となっている。1959 年 Hurley らにより脊髄の癒合を治療する目的で GBR の原理を提唱されて以来、それを実用化するために歯科領域においては様々な材料が開発され、多くの方法やマテリアルがマーケットに登場し儂々散って行った。今回、ネオスジャパンよりこれまでにはないバイオアクティブな性質を持つ革新的な非吸収性メンブレン（ネオジェンメンブレン）が日本国内において承認を経て販売される。

本講演において、上顎前歯における水平、垂直的 GBR をにおいて選択すべき、メンブレン、グラフト材についてネオジェンメンブレンも含めて解説させていただく。



演者：Uke Dental Office  
宇毛 玲 先生

### 【略歴】

1993 年 明海大学歯学部 卒業  
2000 年 東京八重洲クリニック 院長  
2005 年 ウケデンタルオフィス 開院

### 【所属学会】

日本臨床歯科医学会認定医  
日本臨床歯周病学会会員  
OJ フェローシップメンバー  
EAO Active member  
SJCD ベーシックコースインストラクター

日時： 2023 年 1 月 22 日 **日曜日**  
12:00~

会場：福岡国際会議場

福岡市博多区石城町 2-1

参加費： **無料**

定員： **120 名**

お問い合わせ先

ネオス・ジャパン株式会社

〒101-0041  
東京都千代田区神田須田町 1-4 Y101 ビル 5F  
TEL : 03-5289-3511 FAX : 03-5289-3512  
<http://www.neoss.co.jp/>